



## 「できた！」

No.48

文責 校長 木下和敏

## ゴールの姿をイメージして

長崎の街では、先週末からランタンフェスティバルが開催されており、賑わいを見せているようです。一つ一つのランタンの灯りは小さくても、たくさんの灯りが灯されることで、街に活気がみなぎり、人々の心にエネルギーを与えてくれるように思います。能登半島地震から45日程が過ぎます。被災された皆さんは、大変な御苦勞をされています。その中であっても、ボランティアの方の支援や町の復興に取り組んでいる方の姿が報道されており、不安な中でも希望を抱かせるものになっていると思います。一日も早く、被災された地域に、平和な日常が戻ることを願います。

2月も折り返しを迎えました。令和5年度の授業日は、残り25日となります。4月に立てた学級目標をもう一度見つめなおし、卒業式・修了式を迎える時の自分たちの学級の姿を改めて考えてほしいと思います。一人一人の笑顔がキラリと光る学級であってほしいと思います。これからは、学習もまとめの時期となり、一年間の総復習に取り組んでいくことになります。今の学年で身につける基礎・基本をしっかりと活用できるように頑張してほしいと思います。また、今の学級の仲間と過ごす時間を有意義に過ごせるよう「一人一人はみんなのことを、みんなは一人一人のことを考えて行動する」を心の指針として生活を送ってほしいと思います。自分たちの学級のゴールをイメージして頑張っていきましょう。

「大園小学校のみなさん、おはようございます。」元気なあいさつが交わされると、とても気持ちがいいですね。なんだか元氣もわいてきます。

3学期の始業式で、私は長崎っ子の約束「あ・は・は運動」の話をしました。「あ・は・は運動」の「あ」は、「あいさつ・返事 元氣よく」、「は」は「早寝・早起き 朝ごはん」最後の「は」は「はきものそろえ、いい気持ち」ですね。廊下などにはあいさつなどを進めようとするのを促すポスターが貼られており、学年によってはあいさつ名人を紹介する取組をしていると聞いています。その成果が出ているのか、登校する時のみなさんの「おはようございます」の声や廊下ですれ違った時の「こんにちは」の声がたくさん聴かれるようになってきました。あいさつはとても短い言葉ですが、人と人とが目を合わせ、心を通わせる大切な瞬間で、する人も気持ちがいいし、された人もいい気持ちになります。みなさんが、地域の中で活躍できる社会人となるために一番大切なことです。

あいさつの言葉には「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」など人に会った時に使う言葉や、「さようなら」「またね」など人と別れる時に使う言葉があります。以前にラジオ番組で「気持ちのいい日本語」の話を聞きました。気持ちのいい日本語とはどんな言葉だと思うか調査した番組でしたが、調べた結果、第1位は「ありがとう」、第2位は「さようなら」、第3位は「はい」という返事だったそうです。「おはようございます」は第4位でした。「ありがとう」という言葉も素敵なあいさつ言葉になります。友達が困っている時に助けてあげると「ありがとう」、お家のお手伝いをすると「ありがとう」という言葉をかけてもらったことがあるでしょう。相手の人に感謝の気持ちを伝える大事な大事な言葉です。あいさつ言葉は世界中の国の言葉にあり、人と人との心をつなぐ架け橋の言葉となるのです。

あいさつの他にも、下駄箱に靴やシューズのかかとを揃える活動やはさみ歩きを心掛ける活動などに取り組んでいる学級・学年もあります。自分たちの生活をよりよくする取り組みはみなさんの心を大きく成長させると 생각합니다。3学期は残りの授業日が30日あまりです。あいさつが響き渡る、みんなのことを思いやる心が見える大園小学校にしていましょう。

【2月6日：全校集会校長講話（一部抜粋）】

北陽公園の交差点から北栄町に上がる道路沿いで二つの建築工事が行われています。一つがマンション建設、一つが老人ホーム建設の工事です。大きな建物ですので資材の搬入などで大型トラックが出入りします。その他、十八親和銀行跡地がダングュー前にあります。工事現場や空き地などは、子どもたちにとって危険がいっぱいです。学校でも立ち入らないように指導しますので、御家庭での御指導もお願いいたします。